

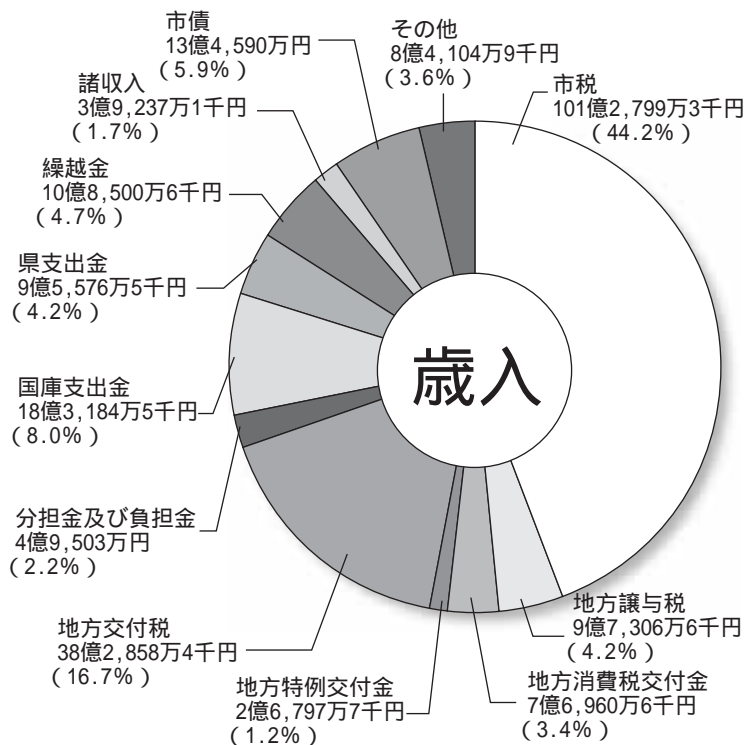
決算概要

各施策に取り組みました



このほど、本庄市の平成18年度決算がまとまりました。みなさんに納めていただいた大切な税金や国・県からの支出金、地方交付税などの収入がどのくらいあり、それらがどのように使われたか、決算の概要をお知らせします。平成18年度決算は、合併後初めての一年を通じた決算です。

一般会計歳入 229億1,419万2千円



【市税の内訳】

固定資産税	46億8,223万2千円
市民税	41億9,414万3千円
都市計画税	5億8,173万4千円
市たばこ税	5億4,438万6千円
軽自動車税	1億2,549万8千円

【特別会計歳入歳出決算額】

会計名	歳入決算額	歳出決算額	歳入歳出差引額
国民健康保険	74億7,692万4千円	74億2,696万3千円	4,996万1千円
公共下水道事業	24億2,397万5千円	24億1,826万9千円	570万6千円
住宅資金貸付事業	5,318万6千円	5,294万5千円	24万1千円
老人保健	61億5,940万7千円	61億5,752万3千円	188万4千円
朝日町土地区画整理事業	1億351万4千円	1億332万3千円	19万1千円
小島西土地区画整理事業	2億5,056万8千円	2億4,464万5千円	592万3千円
児玉南土地区画整理事業	2億1,070万8千円	2億1,013万3千円	57万5千円
農業集落排水事業	2億957万7千円	2億856万3千円	101万4千円
土地取得	159万7千円	159万7千円	0円
介護保険	33億3,931万8千円	32億5,905万2千円	8,026万6千円

特別会計は、特定の事業を行うために一般会計と区分して経理される会計です。

【水道事業会計】

区分	収入決算額	支出決算額	収入支出差引額
収益的収支	16億2,612万2千円	14億6,391万1千円	1億6,221万1千円
資本的収支	9,631万2千円	8億2,253万7千円	7億2,622万5千円

収入決算額及び支出決算額に仮受消費税及び仮払消費税を含みます。資本的収支不足額は、内部留保資金で補てんしました。

平成18年度の一般会計決算額を前年度と比較すると、歳入は、地方交付税、繰入金、繰越金等の減少により、4億814万円（1・8%）減の229億1,419万円、歳出は、総務費、衛生費、土木費等の減少により、9億2,590万円（4・2%）減の213億1,147万円となりました。歳入歳出差引額は16億272万円となり、19年度へ繰り越す財源5,683万円を差

し引いた実質収支（繰越額）は、15億4,589万円となりました。また、歳入で増加した主なものは地方譲与税、地方消費税交付金となり、歳出で増加した主なものは民生費、商工費、教育費となりました。主な事業として、本庄新都心土地区画整理事業負担金、小学校施設整備事業、児玉中学校建設事業、防災行政無線整備事業、子育て支援事業などを実施しました。

平成18年度

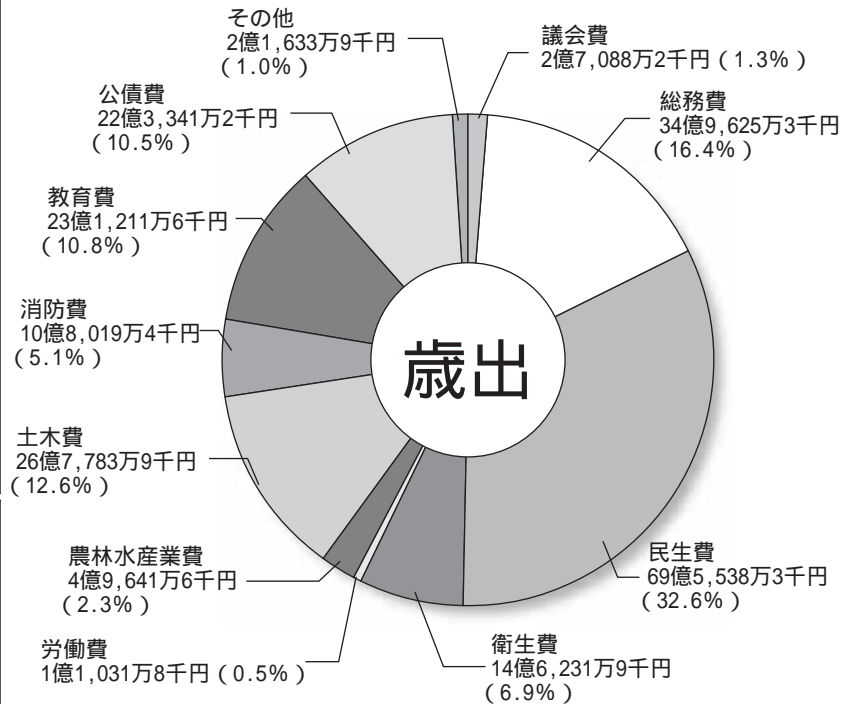
限られた財源を有効に配分し、



市有財産（平成18年度末）	
土地	1,845,719㎡
建物	226,463㎡
有価証券	1,650万円
出資による権利	13億2,154万8千円
基金	
財政調整基金	24億4,578万2千円
国民健康保険給付費支払基金	792万1千円
育英資金貸付基金	5,334万8千円
駅周辺都市基盤整備基金	1,526万7千円
減債基金	8,900万8千円
ほんじょう緑の基金	4,865万円
地域福祉基金	3億153万円
土地開発基金	5,762万9千円
総合都市交通基盤整備基金	1千円
文化振興基金	1,653万1千円
介護保険給付準備基金	2億6,670万円
ふるさと創生基金	8,170万8千円
ふるさと水と土基金	505万6千円
埼玉一頭彰基金	680万7千円
児玉中学校施設整備基金	3億3,269万1千円
本庄市教育振興基金	820万円
基金計	37億3,682万9千円

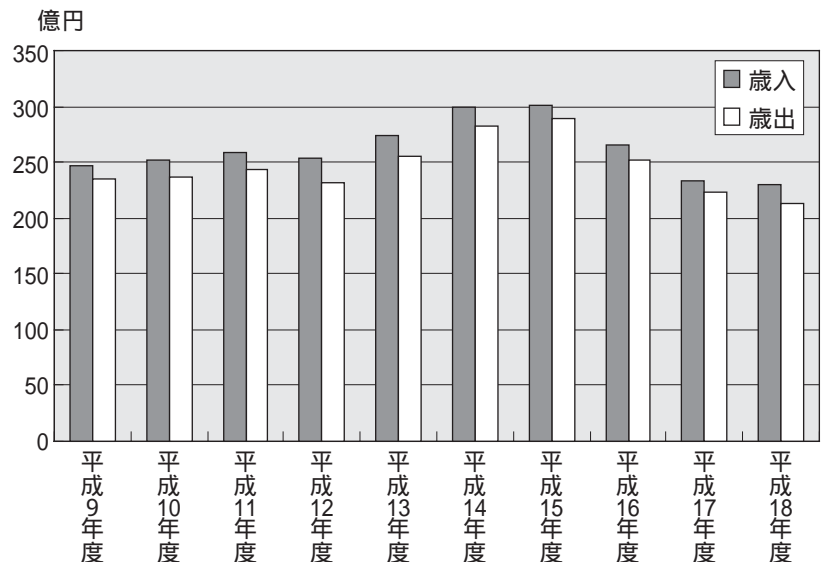
市債残高の状況（平成18年度末）	
一般会計	194億2,614万8千円
住宅資金貸付事業特別会計	1億3,092万5千円
土地取得特別会計	0円
朝日町土地区画整理事業特別会計	2億4,780万8千円
小島西土地区画整理事業特別会計	8億4,297万8千円
児玉南土地区画整理事業特別会計	11億3,764万3千円
公共下水道事業特別会計	108億4,443万7千円
農業集落排水事業特別会計	5億1,198万4千円
合計	331億4,192万3千円
水道事業会計	54億6,633万3千円

一般会計歳出 213億1,147万1千円



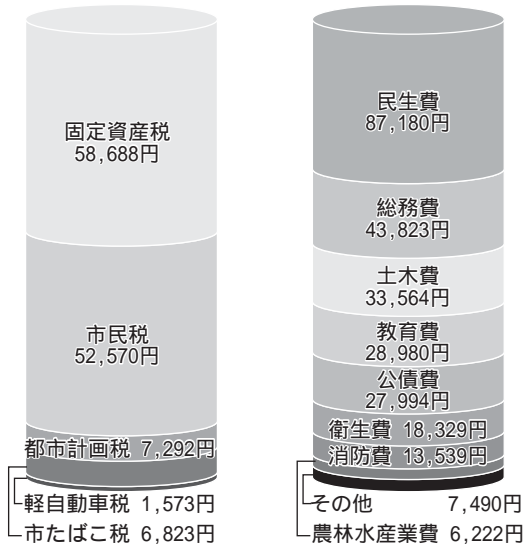
歳入・歳出の推移（一般会計）

一般会計歳入・歳出の決算額推移を見ると、平成13年度から増加し、15年度が最高となり、16年度から減少に変わりました。これは、本庄早稲田駅の工事が平成15年度にほぼ終了したためです。また、平成18年度の歳出決算額の減少は、合併効果や合併による一時的な支出の終了によるものです。（平成9年度から17年度の決算額は旧本庄市、旧児玉町の合計額です。）



市民一人あたりが負担した市税
総額 126,946円

市民一人あたりに使われたお金
総額 267,121円



平成19年4月1日現在の人口79,782人で計算